

RL78/G14

Renesas Starter Kit ユーザーズマニュアル (CubeSuite+)

16 ビット・シングルチップ・マイクロコントローラ
RL78 ファミリ

本資料に記載の全ての情報は本資料発行時点のものであり、ルネサス エレクトロニクスは、予告なしに、本資料に記載した製品または仕様を変更することがあります。
ルネサス エレクトロニクスのホームページなどにより公開される最新情報をご確認ください。

ご注意書き

1. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。お客様の機器・システムの設計において、回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合には、お客様の責任において行ってください。これらの使用に起因して、お客様または第三者に生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
2. 本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。
3. 本資料に記載された製品データ、図、表、プログラム、アルゴリズム、応用回路例等の情報の使用に起因して発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権に対する侵害に関し、当社は、何らの責任を負うものではありません。当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
4. 当社製品を改造、改変、複製等しないでください。かかる改造、改変、複製等により生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
5. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」および「高品質水準」に分類しており、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使用されることを意図しております。
標準水準： コンピュータ、OA 機器、通信機器、計測機器、AV 機器、
 家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット等
高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通用信号機器、
 防災・防犯装置、各種安全装置等
当社製品は、直接生命・身体に危害を及ぼす可能性のある機器・システム（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの等）、もしくは多大な物的損害を発生させるおそれのある機器・システム（原子力制御システム、軍事機器等）に使用されることを意図しておらず、使用することはできません。たとえ、意図しない用途に当社製品を使用したことによりお客様または第三者に損害が生じて、当社は一切その責任を負いません。なお、ご不明点がある場合は、当社営業にお問い合わせください。
6. 当社製品をご使用の際は、当社が指定する最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他の保証範囲内でご使用ください。当社保証範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
7. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めていますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は耐放射線設計については行っておりません。当社製品の故障または誤動作が生じた場合も、人身事故、火災事故、社会的損害等を生じさせないよう、お客様の責任において、冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、お客様の機器・システムとしての出荷保証を行ってください。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様の機器・システムとしての安全検証をお客様の責任で行ってください。
8. 当社製品の環境適合性等の詳細につきましては、製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制する RoHS 指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。お客様がかかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関して、当社は、一切その責任を負いません。
9. 本資料に記載されている当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器・システムに使用することはできません。また、当社製品および技術を大量破壊兵器の開発等の目的、軍事利用の目的その他軍事用途に使用しないでください。当社製品または技術を輸出する場合は、「外国為替及び外国貿易法」その他輸出関連法令を遵守し、かかる法令の定めるところにより必要な手続を行ってください。
10. お客様の転売等により、本ご注意書き記載の諸条件に抵触して当社製品が使用され、その使用から損害が生じた場合、当社は何らの責任も負わず、お客様にてご負担して頂きますのでご了承ください。
11. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを禁じます。

注 1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサス エレクトロニクス株式会社およびルネサス エレクトロニクス株式会社がその総株主の議決権の過半数を直接または間接に保有する会社をいいます。

注 2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注 1 において定義された当社の開発、製造製品をいいます。

製品ご使用上の注意事項

ここでは、マイコン製品全体に適用する「使用上の注意事項」について説明します。個別の使用上の注意事項については、本文を参照してください。なお、本マニュアルの本文と異なる記載がある場合は、本文の記載が優先するものとします。

1. 未使用端子の処理

【注意】未使用端子は、本文の「未使用端子の処理」に従って処理してください。

CMOS 製品の入力端子のインピーダンスは、一般に、ハイインピーダンスとなっています。未使用端子を開放状態で動作させると、誘導現象により、LSI 周辺のノイズが印加され、LSI 内部で貫通電流が流れたり、入力信号と認識されて誤動作を起こす恐れがあります。未使用端子は、本文「未使用端子の処理」で説明する指示に従い処理してください。

2. 電源投入時の処置

【注意】電源投入時は、製品の状態は不定です。

電源投入時には、LSI の内部回路の状態は不確定であり、レジスタの設定や各端子の状態は不定です。外部リセット端子でリセットする製品の場合、電源投入からリセットが有効になるまでの期間、端子の状態は保証できません。

同様に、内蔵パワーオンリセット機能を使用してリセットする製品の場合、電源投入からリセットのかかる一定電圧に達するまでの期間、端子の状態は保証できません。

3. リザーブアドレスのアクセス禁止

【注意】リザーブアドレスのアクセスを禁止します。

アドレス領域には、将来の機能拡張用に割り付けられているリザーブアドレスがあります。これらのアドレスをアクセスしたときの動作については、保証できませんので、アクセスしないようにしてください。

4. クロックについて

【注意】リセット時は、クロックが安定した後、リセットを解除してください。

プログラム実行中のクロック切り替え時は、切り替え先クロックが安定した後に切り替えてください。リセット時、外部発振子（または外部発振回路）を用いたクロックで動作を開始するシステムでは、クロックが十分安定した後、リセットを解除してください。また、プログラムの途中で外部発振子（または外部発振回路）を用いたクロックに切り替える場合は、切り替え先のクロックが十分安定してから切り替えてください。

5. 製品間の相違について

【注意】型名の異なる製品に変更する場合は、製品型名ごとにシステム評価試験を実施してください。

同じグループのマイコンでも型名が違っていると、内部 ROM、レイアウトパターンの相違などにより、電気的特性の範囲で、特性値、動作マージン、ノイズ耐量、ノイズ輻射量などが異なる場合があります。型名が違う製品に変更する場合は、個々の製品ごとにシステム評価試験を実施してください。

ご利用になる前に

この度は、弊社のR L 7 8 / G 1 4用のスタータキット・パッケージ製品（製品型名：R O K 5 0 1 0 4 P S O O O B E、以下「本パッケージ製品」といいます）をご採用下さいましてありがとうございます。

本パッケージ製品に同梱されております基板等のハードウェア製品及びプログラム製品を貴社でご使用になる前に、本パッケージ製品に同梱されております、あるいはディスプレイ上に表示されます「プログラム使用許諾契約書（以下「本契約」といいます）」を必ずお読み下さい。

お客様にて本パッケージ製品をご利用頂くにあたっては、本契約の内容にご承諾頂くことが条件となります。

お客様にて本パッケージ製品をご利用（例えば、プログラム製品を貴社保有のパーソナル・コンピュータ上のハードディスクにプログラム製品をインストール等の行為、あるいは基板等のハードウェア製品と貴社保有のパーソナル・コンピュータを接続することにより動作させる等）頂くことにより、お客様は本契約のすべての条項に拘束されることにご承諾されたものと看做させていただきます。

本契約にご承諾頂けない場合、弊社は、お客様に本パッケージ製品のご利用を許諾することはできません。

この場合には、本パッケージ製品の取得後7日以内に弊社、又はご購入頂きました販売会社、あるいは特約店まで本パッケージ製品をご返却ください。本パッケージ製品を有償でご購入頂きましたお客様には、その返却に要する費用は、弊社で負担させて頂き、頂戴致しました本パッケージ製品の代金につきましてはご返金させていただきます。

本パッケージ製品に関する内容、ご不明な点又はご質問等ございましたら、弊社又はご購入頂きました販売会社、あるいは特約店までお申しつけ下さいますようお願い致します。

スタータキット製品に関する使用許諾契約書

お客様（以下「甲」といいます）と株式会社ルネサスソリューションズ（以下「乙」といいます）とは、次のとおり、スタータキット・パッケージ製品の使用条件につき、契約を締結します。

第1条(定義)

本契約書において、次に掲げる用語の意義は当該各号の定めるところによります。

- (1) 「R製品」とは、ルネサスエレクトロニクス株式会社製半導体製品をいいます。
- (2) 「本パッケージ製品」とは、乙が本契約に基づき甲に提供する、RL78/G14用のスタータキット・パッケージ製品（製品型名：R0K50104PS000BE）をいい、以下のもので構成されます。
 - (イ) 評価基板（以下「本件評価基板」といいます）
 - (ロ) エミュレータ（以下「本件エミュレータ」といいます）
 - (ハ) CD-ROM（1枚）
 - ・このCD-ROMには、評価基板及びエミュレータを動作させるために必要な機能を有するプログラム（オブジェクト・コード形式、以下「本プログラム」といいます）及び本プログラムに関する使用説明書（以下「関連資料」といいます）がコピーされています。
- (3) 「本プログラム等」とは、「本プログラム」と「関連資料」を総称していいます。
- (4) 「甲製品」とは、本契約の義務履行に責任を有する甲の部門が開発する、R製品が搭載された甲のシステム製品をいいます。

第2条(本パッケージ製品の引渡しと検収)

1. 甲は、乙から本パッケージ製品を提供された後、14日以内に本パッケージ製品を速やかに開封し、本パッケージ製品に同梱されている製品の個々の受入検査を行い、物理的な瑕疵等や不備があった場合は、その結果を乙に速やかに書面をもって報告しなければならないものとします。乙は、甲から当該通知を受けた場合は、速やかに物理的な瑕疵等や不備のない本パッケージ製品を再提供します。
2. 甲が前項の検査の報告を前項の期日に行わなかった場合は、甲が当該検査を完了したものとみなします。
3. 提供前に生じた本パッケージ製品の滅失又は毀損は、甲の責に帰すべきものを除き乙の負担とし、提供以後に生じたこれらの損害は、乙の責に帰すべきものを除き甲の負担とします。

第3条(不具合の保証)

1. 第2条に従い、甲によって本パッケージ製品の検査が完了した日から1年間（以下「保証期間」といいます）において、明らかに本パッケージ製品上において乙の責に帰すべき隠れたる瑕疵が甲により発見され、その旨を甲より書面で通知された場合には、乙は、当該瑕疵を無償で修正すべく最善を尽くすものとします。
2. 乙は、本条に規定する乙が行う当該瑕疵の修正により本パッケージ製品上のすべての瑕疵が修正されることを保証しないものとし、甲が本パッケージ製品の一部又は全部を改変又は変更等したことにより発生した瑕疵に関しては、乙は一切の責任を負わないものとします。
3. 前項に従い乙により修正された本パッケージ製品の無償での瑕疵保証期間については、保証期間の残存期間の満了日または、修正された本パッケージ製品の引渡し後30日間の満了日うち、いずれか遅く到来する日までとします。
4. 第1項の保証を除き、乙は、本パッケージ製品の性能、正確性、完全性及び本パッケージ製品自体またはその使用がいかなる第三者の知的財産権にも抵触しないことについて、明示的にも黙示的にも一切の保証をしない、現状有姿(AS IS)で本パッケージ製品を甲に提供します。
5. 乙は、甲により本プログラム等をインストールされる、甲が管理・所有する1台のコンピュータ（以下「甲装置」といいます）と本件評価基板及び/又は本件エミュレータを接続して別途乙が指定する動作環境において正しく動作することを保証します。但し、甲装置以外の甲製品、甲が選択した機器、若しくは装置又はプログラムとの組合せにおいて、正しく動作すること及び甲の特定の使用目的に適合することを保証しないものとします。
6. 本条前各項の定めは、本契約に基づく法律上の瑕疵担保責任を含む乙の保証責任のすべてを規定したものとします。
7. 本条の定めは、本契約終了後もなお有効に存続します。

第4条(利用の範囲)

1. 乙は甲に対し、別途契約を締結し、甲においてR製品及び/又は乙製のみドルウェア製品の採用の可否を検討する目的(以下「本目的」といいます)のために、乙が別途書面で指定する方法により本パッケージ製品を利用することができます。
2. 甲は、本パッケージ製品を逆コンパイル、逆アセンブル、若しくはリバースエンジニアリング又は改変等してはならないものとし、それらの行為を第三者にさせてはならないものとします。
3. 本パッケージ製品に係る一切の知的財産権等は乙に帰属し、乙は甲に対して、本パッケージ製品について別途書面で指定する方法において明示的に許諾した権利を除いて、乙の産業財産権、著作権、半導体回路配置利用権、営業秘密又はその他すべての知的財産権に基づく何らの実施権、使用权または利用権をも許諾するものではないものとします。

第5条(本パッケージ製品の譲渡)

1. 甲は、本パッケージ製品を第三者に譲渡することができます。但し、この場合、本件評価基板、本件エミュレータ及び本プログラム等が格納されているCD-ROM(原本)を分離して譲渡することはできません。また、本プログラム等の複製物(甲装置にインストールされた本プログラム等及びバックアップ用のCD-ROM、並びに一切の印刷物(本契約を含みます)を含みます)を甲において保持することはできず、その一切を当該譲渡先である第三者に譲渡しなければなりません。
2. 前項に従い、甲が本パッケージ製品の一切を譲渡する場合、甲はその譲渡の前に当該第三者に本契約のすべての条項に同意したことを確認しなければなりません。以後の正規の譲受人についても同様とします。
3. 乙は、当該第三者(以後の正規の譲受人を含みます)が本パッケージ製品を利用することに起因して生じる一切の問題に対して責任を負担しないものとします。但し、当該第三者(以後の正規の譲受人を含みます)から乙に対して、直接技術サポート等の要求があれば、この限りではありません。

第6条(責任限度)

1. 乙は、本契約において明示的に定めるもの以外には、いかなる甲の損害についても一切の保証責任及び一切の担保責任を負わないものとします。
2. 乙は、本契約に関して明示的に保証責任または担保責任を負う場合でも、その理由のいかんを問わず、乙の累積的な損害賠償責任は、甲から受領した、本パッケージ製品の購入代金を上限とします。
3. 本条の定めは、本契約終了後もなお有効に存続します。

第7条(輸出関連法令の遵守)

1. 甲は、本契約に基づき乙から提供された本パッケージ製品(複製物を含みます)を、核兵器、化学兵器、生物兵器、ミサイル兵器等の大量破壊兵器の開発、設計、製造、保管若しくは使用等の目的、軍事用途の目的又はその他の国際的な平和及び安全の維持の妨げとなる使用目的を有する者に輸出、販売、譲渡、賃貸又は使用許諾したり、またそのような目的に自ら使用したり、第三者に使用させたりしてはならないものとします。
2. 甲は、本契約に基づき乙から提供された本パッケージ製品(複製物を含みます)を輸出、販売、譲渡、賃貸又は使用許諾等する際は、書面による乙の事前の承諾を得るものとします。これに加えて、乙の承諾を得て輸出等を行う場合には、甲は「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法規並びに適用となる輸出管理に関する国内外の法令及び規則に定められた必要な手続をとるものとします。
3. 本条の定めは、本契約終了後もなお有効に存続します。

第8条(完全合意)

1. 本契約は、本契約に添付される別紙と共に当事者間の完全なる合意を構成し、それに関連する本契約締結前のすべての協議及び合意に取って代わるものとします。
2. 本契約の改訂、変更又は追加は書面により規定され、当事者の正当に授権された代表者により記名、押印されない限り、有効とはならず当事者を拘束しないものとします。
3. 本条の定めは、本契約終了後もなお有効に存続します。

第9条 (免責/非保証)

1. 本契約に規定する本パッケージ製品は、各種安全装置や運輸・交通用、医療用、燃焼制御用、航空宇宙用、原子力、海底中継用の機器・システム等、その故障や誤動作が直接人命を脅かし、あるいは人体に危害を及ぼすおそれのあるような機器・システムや特に高度な品質・信頼性が要求される機器・システムでの使用を意図して作成、設計、開発及び製造されたものではないものとします。なお、当該用途に使用されたことにより発生した損害等について、乙はその一切の責任を負わないものとします。
2. 前項の規定にかかわらず、本契約に規定する本パッケージ製品は、甲は、以下に掲げる用途には使用することができないものとします。これらの用途に甲が本パッケージ製品を使用したことにより発生した損害等については、乙は、その一切の責任を負わないものとします。
 - (1) 生命維持装置。
 - (2) 人体に埋め込み使用するもの。
 - (3) 治療行為（患部切り出し、薬剤投与等）を行なうもの。
 - (4) その他、直接人命に影響を与えるもの。
4. 本条の定めは、本契約終了後もなお有効に存続します。

第10条(協議)

1. 本契約に関して疑義が生じた場合及び本契約に定めのない事項については、甲乙誠意をもって協議し解決することとします。
2. 本条の定めは、本契約終了後もなお有効に存続します。

以上

WEEE Directive



Renesas development tools and products are directly covered by the European Union's Waste Electrical and Electronic Equipment, (WEEE), Directive 2002/96/EC. As a result, this equipment, including all accessories, must not be disposed of as household waste but through your locally recognized recycling or disposal schemes. As part of our commitment to environmental responsibility Renesas also offers to take back the equipment and has implemented a Tools Product Recycling Program for customers in Europe. This allows you to return equipment to Renesas for disposal through our approved Producer Compliance Scheme. To register for the program, click here "<http://www.renesas.com/weee>".

このマニュアルの使い方

1. 目的と対象者

このマニュアルは、RSK ハードウェア概要と電気的特性をユーザに理解していただくためのマニュアルです。様々な周辺装置を使用して、RSK プラットフォーム上のサンプルコードを設計するユーザを対象としています。

このマニュアルは、RSK 製品の機能概観を含みますが、組み込みプログラミングまたはハードウェア設計ガイドのためのマニュアルではありません。また、RSK および開発環境のセットアップに関するその他の詳細は、チュートリアルに記載しています。

このマニュアルを使用する場合、注意事項を十分確認の上、使用してください。注意事項は、各章の本文中、各章の最後、注意事項の章に記載しています。

改訂記録は旧版の記載内容に対して訂正または追加した主な箇所をまとめたものです。改訂内容すべてを記録したものではありません。詳細は、このマニュアルの本文でご確認ください。

RSKRL78G14 では次のドキュメントを用意しています。ドキュメントは最新版を使用してください。最新版はルネサスエレクトロニクスのホームページに掲載されています。

ドキュメントの種類	記載内容	資料名	資料番号
ユーザーズマニュアル	RSK ハードウェア仕様の説明	RSKRL78G14 ユーザーズマニュアル	R20UT0785JG (本マニュアル)
チュートリアルマニュアル	RSK および開発環境のセットアップ方法とデバッグ方法の説明	RSKRL78G14 チュートリアルマニュアル	R20UT0786JG
クイックスタートガイド	A4 紙一枚の簡単なセットアップガイド	RSKRL78G14 クイックスタートガイド	R20UT0787JG
回路図	CPU ボードの回路図	RSKRL78G14 CPU ボード回路図	R20UT0784EG
ユーザーズマニュアル ハードウェア編	ハードウェアの仕様（ピン配置、メモリマップ、周辺機能の仕様、電気的特性、タイミング）と動作説明	RL78/G14 ユーザーズマニュアル ハードウェア編	R01UH0186JJ

2. 略語および略称の説明

略語／略称	英語名	備考
ADC	Analogue-to-Digital Converter	A/D コンバータ
bps	bits per second	転送速度を表す単位、ビット/秒
CAN	Controller Area Network	コントローラエリアネットワーク
CPU	Central Processing Unit	中央処理装置
CRC	Cyclic Redundancy Check	巡回冗長検査
DMA	Direct Memory Access	CPU の命令を介さずに直接データ転送を行う方式
DMAC	Direct Memory Access Controller	DMA を行うコントローラ
E1	Renesas On-chip Debugging Emulator	ルネサスオンチップデバッグエミュレータ
EEPROM	Electrically Erasable Programmable Read Only Memory	-
EMC	Electromagnetic Compatibility	電磁環境適合性
ESD	Electrostatic Discharge	静電気放電
I ² C	Phillips™ Inter-Integrated Circuit Connection Bus	-
IRQ	Interrupt Request	割り込み要求
LCD	Liquid Crystal Display	液晶ディスプレイ
LED	Light Emitting Diode	発光ダイオード
MCU	Micro-controller Unit	マイクロコントローラユニット
PC	Program Counter	プログラムカウンタ
PWM	Pulse Width Modulation	パルス幅変調
RSK	Renesas Starter Kit+	ルネサススタータキット
RAM	Random Access Memory	ランダムアクセスメモリ
UART	Universal Asynchronous Receiver/Transmitter	調歩同期式シリアルインタフェース
USB	Universal Serial Bus	-

目次

1. 概要	11
1.1 目的	11
1.2 特徴	11
2. 電源	12
2.1 動作条件	12
2.2 初期起動動作	12
3. ボードレイアウト	13
3.1 コンポーネントレイアウト	13
3.2 ボード寸法	14
3.3 部品配置	15
4. 接続関係	16
4.1 ボード内部の接続関係	16
4.2 デバッグ環境の接続関係	17
5. ユーザ回路	18
5.1 リセット回路	18
5.2 クロック回路	18
5.3 スイッチ	18
5.4 LED	18
5.5 ポテンショメータ	19
5.6 Debug LCDモジュール	19
5.7 RS232 シリアルポート	19
5.8 Local-Interconnect Network (LIN)	20
6. コンフィグレーション	21
6.1 CPUボードのモディファイ	21
6.2 MCUエミュレータサポート設定	21
6.3 ADC設定	21
6.4 RS232 シリアルポート設定	22
6.5 LIN設定	25
6.6 IRQ & 汎用I/O設定	23
6.7 電源設定	24
6.8 クロック設定	25
7. ヘッダ	26
7.1 拡張基板インタフェース (アプリケーションヘッダ)	26
7.2 マイクロコントローラピンヘッダ	28
8. コード開発	30
8.1 概要	30
8.2 コンパイラ制限	30
8.3 モードサポート	30
8.4 デバッグサポート	30
8.5 アドレス空間	31
9. 追加情報	32

1. 概要

1.1 目的

本 RSK はルネサスマイクロコントローラ用の評価ツールです。本マニュアルは、RSK ハードウェアの技術的要素を詳しく解説し、クイックスタートガイドおよびチュートリアルでは、ソフトウェアのインストール、デバッグ環境を説明しています。

1.2 特徴

本 RSK は以下の特徴を含みます：

- ルネサスマイクロコントローラのプログラミング
- ユーザコードのデバッグ
- スイッチ、LED、ポテンシオメータ等のユーザ回路
- サンプルアプリケーション
- 周辺機能初期化コードのサンプル

CPU ボードはマイクロコントローラの動作に必要な回路を全て備えています。

2. 電源

2.1 動作条件

E1 エミュレータは最大 200mA の電源を CPU ボードに供給することができます。CPU ボードが他のシステムに接続される場合、そのシステムから CPU ボードに電源を供給してください。なお、CPU ボードにはセンタープラスのバレル型電源ジャックが備え付けられています。

本 CPU ボードは 5V の電圧入力をサポートしており、特定の設定を必要とします。外部電源接続の詳細を表 2-1 に示します。

J5 設定	J6 設定	供給源	入力電圧	レギュレータ IC 出力供給
Pin1-2 短絡	開放 / 短絡	E1	5V / 3.3V	レギュレータ IC 出力供給なし
Pin1-2 短絡	開放 / 短絡	PWR コネクタ	5V	レギュレータ IC 出力供給なし
Pin2-3 短絡	開放		5V	3.3V
Pin2-3 短絡	短絡		5V	1.8V

表 2-1: 主電源仕様

本 CPU ボードに過小電圧及び過電圧保護機能はありません。必ず、安定化された(最小 5W)DC 出力でセンタープラスの電源ご使用ください。

2.2 初期起動動作

製品購入時、CPU ボード上のマイクロコントローラにサンプルのチュートリアルコードが書き込まれています。ボードに電源を供給すると、ユーザ LED が点滅し始めます。200 回点滅した後、あるいはユーザスイッチを押した後、ユーザ LED の点滅レートはポテンショメータの調整によって変化します。

3. ボードレイアウト

3.1 コンポーネントレイアウト

CPU ボードのコンポーネントレイアウトを図 3-1 に示します。

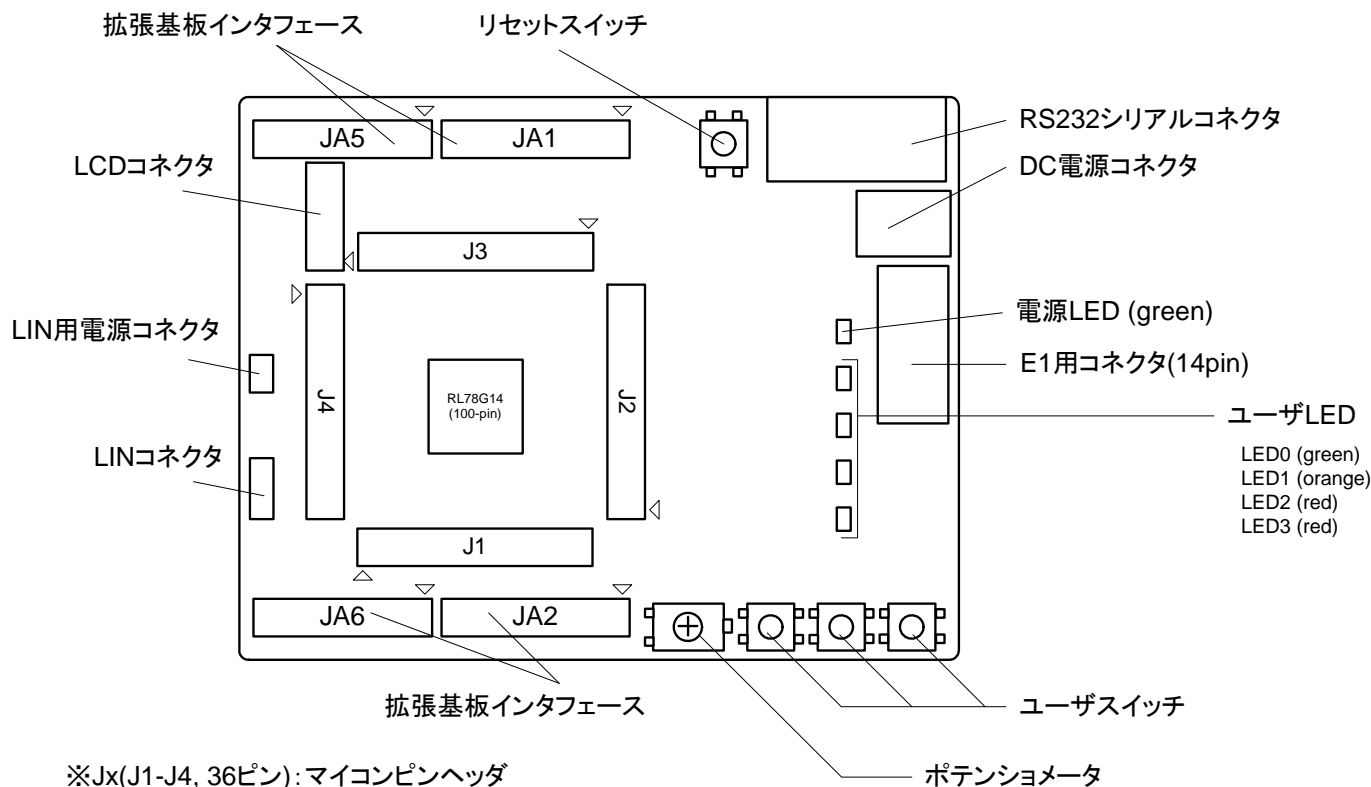


図 3-1: コンポーネントレイアウト

3.2 ボード寸法

ボード寸法およびコネクタ位置を図 3-2 に示します。拡張基板インタフェースおよびマイクロコントローラピンヘッダのスルーホールは、0.1 インチの共通ピッチになっています。

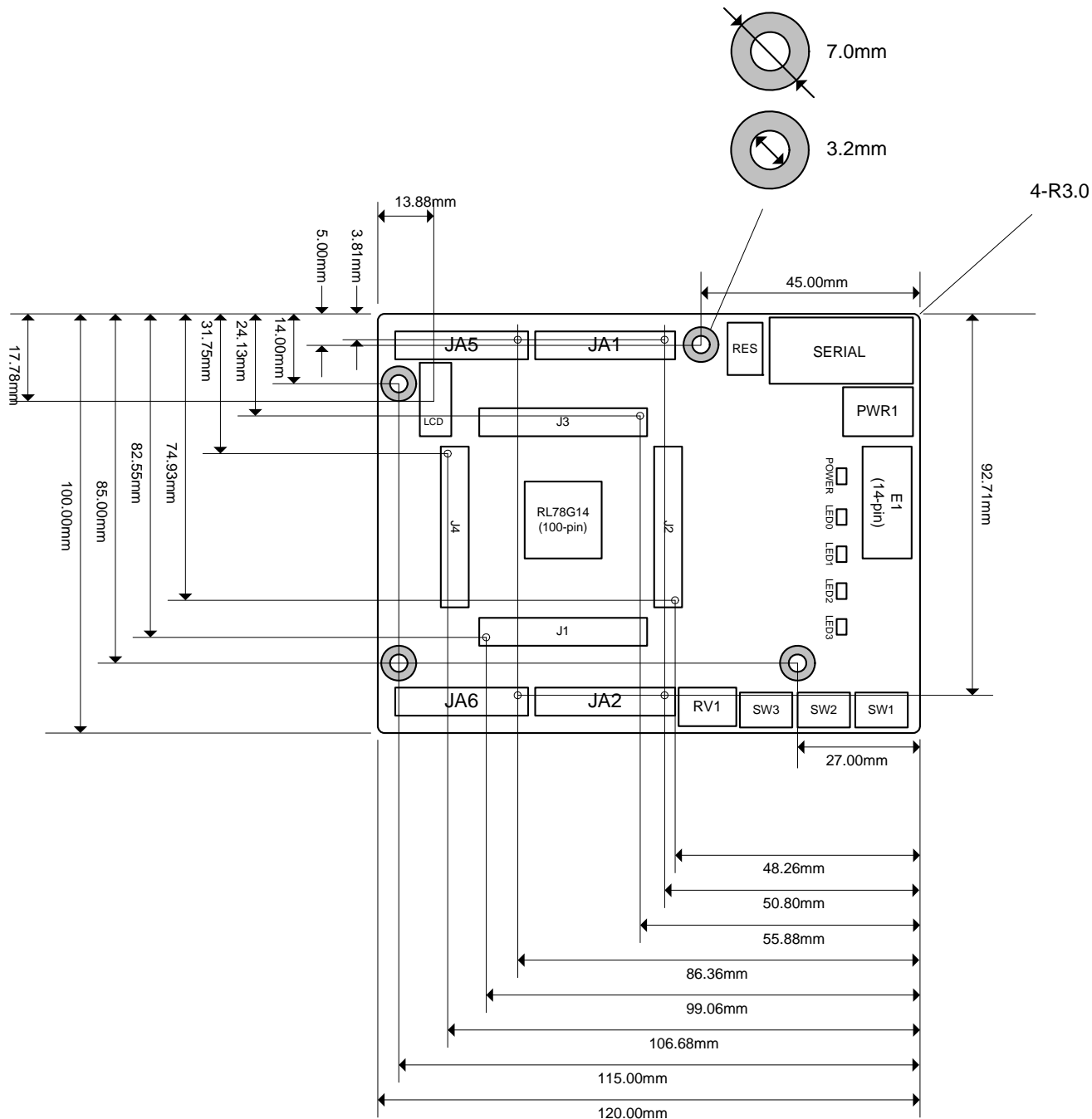


図 3-2: ボード寸法図

3.3 部品配置

CPU ボードの部品面側（C 面）の部品配置図を図 3-3 に示します。各部品の部品番号と値は CPU ボード回路図とともに参照してください。

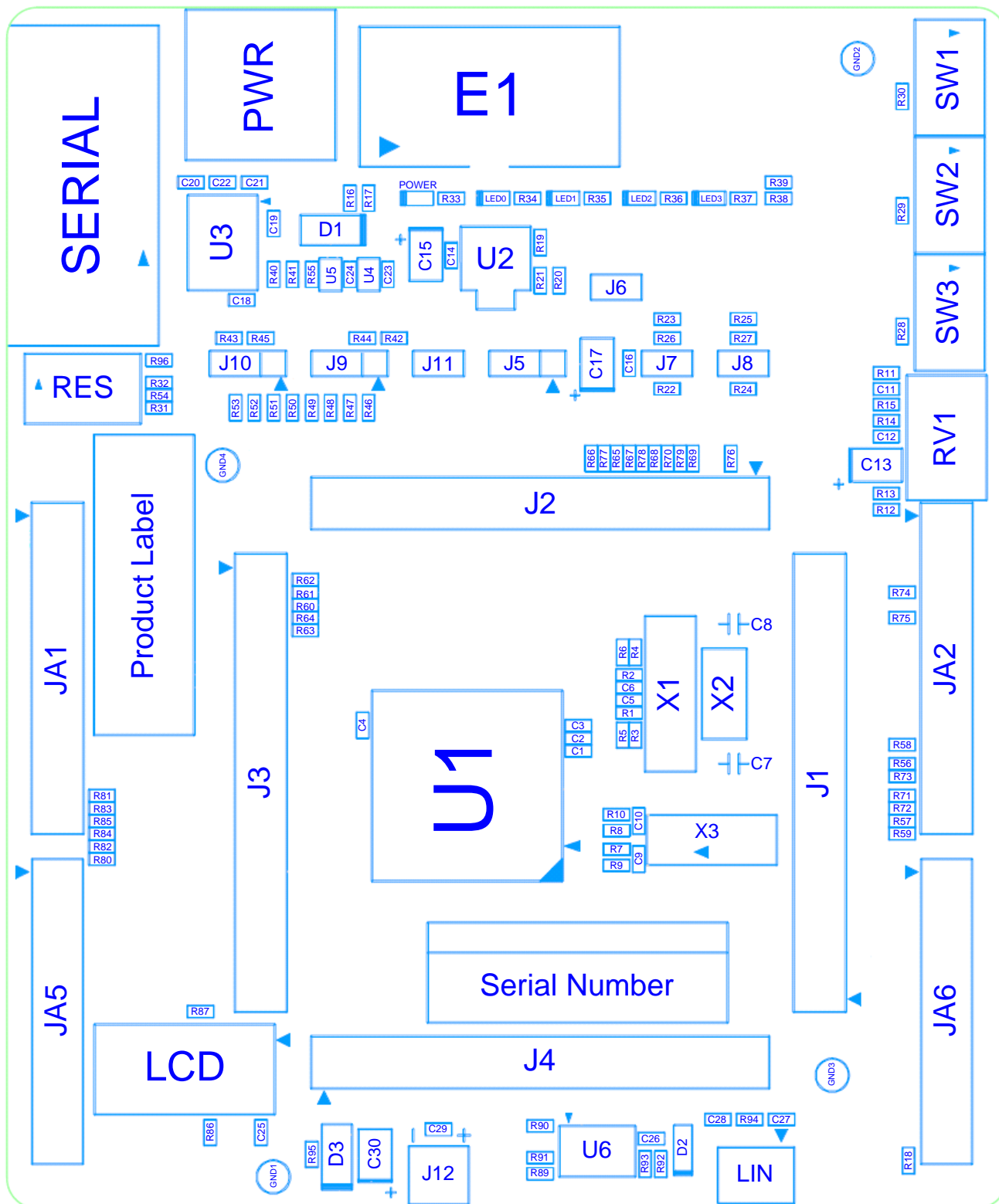


図 3-3: 部品配置図（部品面）

4. 接続関係

4.1 ボード内部の接続関係

CPU ボードコンポーネントとマイクロコントローラの接続関係を図 4-1 に示します。

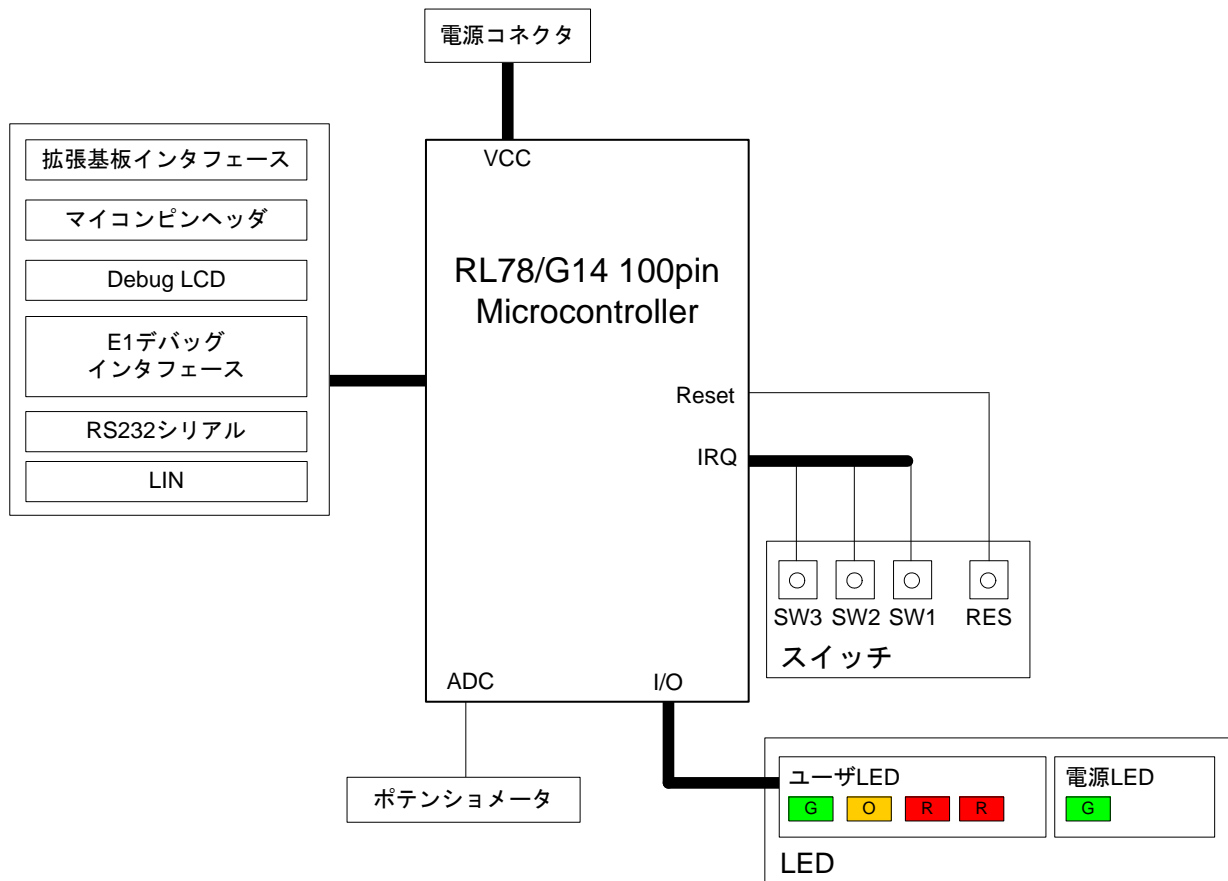


図 4-1: ボード内部の接続関係

4.2 デバッグ環境の接続関係

CPU ボード、E1 エミュレータおよびホスト PC 間の接続を図 4-2 に示します。

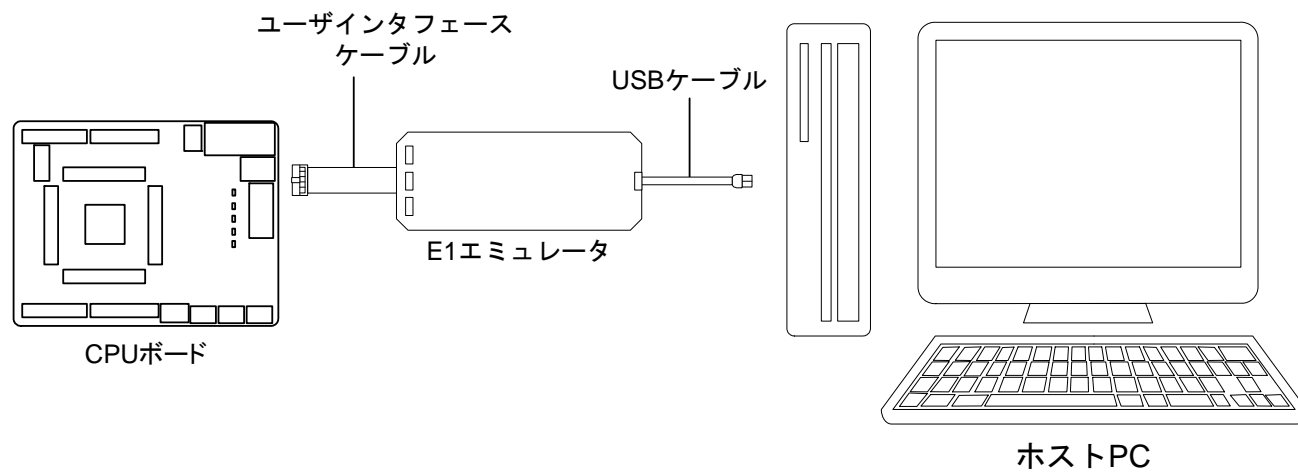


図 4-2: デバッグ環境の接続関係

5. ユーザ回路

5.1 リセット回路

本 CPU ボードはマイクロコントローラ内蔵のパワーオンリセット回路を使用します。また、ボード上の RES スイッチによってリセット信号を生成することが可能です。マイクロコントローラのリセット仕様詳細については RL78/G14 ユーザーズマニュアルハードウェア編、CPU ボードのリセット回路詳細については CPU ボード回路図を参照してください。

5.2 クロック回路

マイクロコントローラのカロック源用に CPU ボードにはカロック回路が備わっています。マイクロコントローラのカロック仕様詳細については RL78/G14 ユーザーズマニュアルハードウェア編、CPU ボードのカロック回路詳細については CPU ボード回路図を参照してください。CPU ボード上のカロック詳細を表 5-1 に示します。

クロック	機能/用途	出荷時の状態	周波数	発振子パッケージ
X1	メインシステムカロック用水晶発振子	実装済み	20MHz	表面実装
X2	メインシステムカロック用水晶発振子/ セラミック共振子	未実装	n/a	リード型
X3	サブシステムカロック用水晶発振子	実装済み	32.768kHz	表面実装

表 5-1: クロック詳細

5.3 スイッチ

CPU ボードには 4 個のプッシュスイッチが備わっています。各スイッチの機能および接続を表 5-2 に示します。

スイッチ	機能/用途	MCU ピン
RES	マイクロコントローラをリセットします。	RESET#, Pin 13
SW1	ユーザコントロール用に IRQ に接続。	INTP8, Pin 36 (P74)
SW2	ユーザコントロール用に IRQ に接続。	INTP9, Pin 35 (P75)
SW3	ユーザコントロール用に IRQ に接続。	INTP10, Pin 34 (P76)

表 5-2: スイッチ

5.4 LED

CPU ボードには 5 個の LED が備わっています。各 LED の機能、発色および接続を表 5-3 に示します。

LED	発色	機能/用途	MCU ピン
POWER	緑 (Green)	Board_VDD 電源ラインのインジケータ	未接続
LED0	緑 (Green)	ユーザ LED	P43, Pin 9
LED1	橙 (Orange)	ユーザ LED	P44, Pin 8
LED2	赤 (Red)	ユーザ LED	P62, Pin 26
LED3	赤 (Red)	ユーザ LED	P63, Pin 27

表 5-3: LED

5.5 ポテンショメータ

マイクロコントローラの ANI8 (Port P150, Pin 82) に単回転ポテンショメータが接続されており、当該端子へ Board_VDD と GND 間の可変アナログ入力が可能です。

ポテンショメータの仕様はメーカーサイトを参照してください。(メーカー名: PIHER 社、型名: N6 シリーズ)

ポテンショメータは簡易的にマイクロコントローラに可変アナログ入力供給をするために備え付けられています。A/D コンバータの精度は保証できませんので、予めご了承ください。

5.6 Debug LCDモジュール

本製品には LCD モジュールが同梱されており、CPU ボードの LCD コネクタに接続することができます。

LCD モジュールを接続するときは、LCD モジュールの全てのピンが LCD コネクタに適切に接続されていることを確認してください。LCD モジュールは ESD に弱いので、取り扱いには十分気をつけてください。

ピン割り当てを削減するために、LCD モジュールは 4 ビットインタフェースを使用しています。また、LCD モジュール上の抵抗によってコントラストが調整されていますので、CPU ボード上にコントラスト調整用の回路はありません。LCD コネクタの詳細を表 5-4 に示します。

Debug LCD コネクタ (LCD)					
ピン	回路ネット名	MCU ピン	ピン	回路ネット名	MCU ピン
1	GROUND	-	2	Board_5V	-
3	NC	-	4	DLCDRS	P06, Pin 41
5	R/W (Write 側に固定)	-	6	DLCDE	P05, Pin 42
7	NC	-	8	NC	-
9	NC	-	10	NC	-
11	DLCDD4	P54, Pin 58	12	DLCDD5	P55, Pin 59
13	DLCDD6	P56, Pin 60	14	DLCDD7	P57, Pin 61

表 5-4: Debug LCD コネクタ

5.7 RS232 シリアルポート

製品出荷時、マイクロコントローラのシリアルポート UART1 が RS232 トランシーバを経由して RS232 シリアルコネクタに接続されています。ジャンパおよびオプションリンク抵抗の設定を変更することで、他のシリアルチャネルを RS232 トランシーバに接続することができます(詳細設定は 6 章を参照)。マイクロコントローラのシリアルポートと RS232 シリアルコネクタの接続関係を表 5-5 に示します。

SCI 信号	機能/用途	MCU ピン	RS232 シリアルコネクタ
TxD0	TxD0 送信データ信号	P51, Pin 55	Pin 2*
RxD0	RxD0 受信データ信号	P50, Pin 54	Pin 3*
TxD1	TxD1 送信データ信号	P02, Pin 95	Pin 2
RxD1	RxD1 受信データ信号	P03, Pin 94	Pin 3
TxD3	TxD3 送信データ信号	P144, Pin 99	Pin 2*
RxD3	RxD3 受信データ信号	P143, Pin 100	Pin 3*

表 5-5: シリアルポート

* 製品出荷時時は接続されていないので、シリアルポートを変更する際は 6 章を参照してください。

5.8 Local-Interconnect Network (LIN)

CPU ボードに実装されている RL78/G14 マイクロコントローラは LIN 通信に対応しておりボード上の LIN トランシーバに接続されています。LIN プロトコルおよび動作モード詳細については RL78/G14 ユーザーズマニュアルハードウェア編を参照してください。LIN の接続関係を表 5-6 に示します。

LIN 信号	機能/用途	MCU ピン
LINTXD	LIN データ送信	P51, Pin 55
LINRXD	LIN データ受信	P50, Pin 54
LINNSLP	LIN トランシーバスリープ制御	P52, Pin 56

表 5-6: LIN

6. コンフィグレーション

6.1 CPUボードのモディファイ

この章では CPU ボードを異なる設定に変更するための方法（オプションリンク）について説明します。設定はオプションリンク抵抗およびジャンパによって変更できます。

オプションリンク抵抗は 0Ω の表面実装抵抗器で、回路・信号の接続または分離に使用されます。次のセクションからは実装/未実装の時の機能を説明します。表中の**太字の青文字テキスト**は、CPU ボード出荷時の初期状態を示しています。オプションリンク抵抗およびジャンパの位置は 3 章の部品配置図を参照してください。

ハンダ実装された部品を取外す場合、当該部品付近の部品への損傷を回避するためにハンダコテを 5 秒以上あてないようにしてください。

オプションリンクを変更する場合、信号の競合や短絡がないように関連するオプションリンクも必ず確認してください。マイクロコントローラの多くのピンは複数の機能を持っているので、周辺装置のうちいくつかは排他的に使用されます。詳細情報に関しては RL78/G14 ユーザーズマニュアルハードウェア編および CPU ボード回路図を参照してください。

6.2 MCUエミュレータサポート設定

MCUエミュレータサポート設定に関連するオプションリンクを表 6-1 に示します。

Reference	実装時の設定	未実装時の設定	関連
R54	E1 によるデバッグ・フラッシュプログラミングをサポート	E1 によるフラッシュプログラミングのみをサポート (通常設定しないでください)	R32

表 6-1: MCU エミュレータサポートオプションリンク

6.3 ADC設定

A/D コンバータ設定に関連するオプションリンクを表 6-2 に示します。

Reference	実装時の設定	未実装時の設定	関連
R11	AN18(MCU, Pin82)をポテンショメータのワイパー端子に接続	接続解除	-
R12	Board_VDD をポテンショメータの陽極に接続	接続解除	R13
R13	AVREFP(MCU, Pin90)をポテンショメータの陽極に接続	接続解除	R12
R14	ポテンショメータの陰極を GROUND に接続	接続解除	R15
R15	AVREFM(MCU, Pin89)をポテンショメータの陰極に接続	接続解除	R14

表 6-2: ADC オプションリンク

6.4 RS232 シリアルポート設定

シリアルポート設定に関連するオプションリンクを表 6-3 に示します。

Reference	実装時の設定	未実装時の設定	関連
R46	RS232TX(JA6.Pin5)を RS232 トランシーバの T1IN(U3.Pin13)に接続	接続解除	R48, R50, R52
R47	RS232RX(JA6.Pin6)を RS232 トランシーバの R1OUT(U3.Pin15)に接続	接続解除	R49, R51, R53
R48	TxD0(MCU, Pin55)を RS232 トランシーバの T1IN(U3.Pin13)に接続	接続解除	R46, R50, R52
R49	RxD0(MCU, Pin54)を RS232 トランシーバの R1OUT(U3.Pin15)に接続	接続解除	R47, R51, R53
R50	TxD1(MCU, Pin95)を RS232 トランシーバの T1IN(U3.Pin13)に接続	接続解除	R46, R48, R52
R51	RxD1(MCU, Pin94)を RS232 トランシーバの R1OUT(U3.Pin15)に接続	接続解除	R47, R49, R53
R52	TxD3(MCU, Pin99)を RS232 トランシーバの T1IN(U3.Pin13)に接続	接続解除	R46, R48, R50
R53	RxD3(MCU, Pin100)を RS232 トランシーバの R1OUT(U3.Pin15)に接続	接続解除	R47, R49, R51

表 6-3: シリアルポートオプションリンク

シリアルポート設定に関連するジャンパ設定を表 6-4 に示します。

Reference	ポジション 1	ポジション 2	ポジション 3	関連
J9 *1	Pin 1-2 短絡 : T1IN (U3.Pin13) を TxD0 (MCU, Pin55) 、 TxD1 (MCU, Pin95) 、 TxD3 (MCU, Pin99) または RS232TX (JA6.Pin5) に接続	Pin 2-3 短絡 : T1IN(U3.Pin13)を TOOL0 (MCU, Pin12) に接続	全 Pin 開放 : T1IN への接続を解除	R44, R46, R48, R50, R52
J10 *2	Pin 1-2 短絡 : R1OUT (U3.Pin15) を RxD0 (MCU, Pin54) 、 RxD1 (MCU, Pin94) 、 RxD3 (MCU, Pin100) または RS232RX (JA6.Pin6) に接続	Pin 2-3 短絡 : R1OUT をバッファゲート の出力許可ピン (U5.Pin1) に接続	全 Pin 開放 : R1OUT への接続を 解除	R45, R47, R49, R51, R53
J11 *3	Pin 1-2 短絡 : R2OUT (U3.Pin10) を、NOT ゲート(U4)を介して RESETn (MCU, Pin13) に接続	Pin 1-2 開放 : 接続解除		-

表 6-4: シリアルポートジャンパ設定

*1 製品出荷時ジャンパ J9 は CPU ボードに実装されていません。抵抗 R44 によってポジション 1 に設定されています。

*2 製品出荷時ジャンパ J10 は CPU ボードに実装されていません。抵抗 R45 によってポジション 1 に設定されています。

*3 製品出荷時ジャンパ J11 は CPU ボードに実装されていないので、ポジション 2 と同じ状態に設定されています。

6.5 IRQ & 汎用I/O設定

IRQおよび汎用I/O設定に関連するオプションリンクを表 6-5 に示します。

Reference	実装時の設定	未実装時の設定	関連
R56	TI00_TRGCLKA(MCU, Pin97)をヘッド JA2.Pin21 に接続	接続解除	R57
R57	TI00_TRGCLKA(MCU, Pin97)をヘッド JA2.Pin25 に接続	接続解除	R56
R58	TO00_TRGCLKB(MCU, Pin96)をヘッド JA2.Pin19 に接続	接続解除	R59
R59	TO00_TRGCLKB(MCU, Pin96)をヘッド JA2.Pin26 に接続	接続解除	R58
R60	LINRXD_RxD0_TRGIOA(MCU, Pin54)を LIN トランシーバ(U6.Pin1)に接続	接続解除	R61, R62
R61	LINRXD_RxD0_TRGIOA(MCU, Pin54)をヘッド JA6.Pin7、RS232 トランシーバの R1OUT(R49 経由)に接続	接続解除	R60, R62, R49
R62	LINRXD_RxD0_TRGIOA(MCU, Pin54)をヘッド JA2.Pin23(R72 経由)に接続	接続解除	R60, R61, R72
R63	LINTXD_TxD0(MCU, Pin55)を LIN トランシーバに接続	接続解除	R64
R64	LINTXD_TxD0(MCU, Pin55)をヘッド JA6.Pin8、RS232 トランシーバの T1IN(R48 経由)に接続	接続解除	R63, R48
R65	SW1_INTP8(MCU, Pin36)を SW1 に接続	接続解除	R66
R66	SW1_INTP8(MCU, Pin36)をヘッド JA1.Pin23 に接続	接続解除	R65
R67	SW2_INTP9(MCU, Pin35)を SW2 に接続	接続解除	R68
R68	SW2_INTP9(MCU, Pin35)をヘッド JA5.Pin9 に接続	接続解除	R67
R69	SW3_INTP10(MCU, Pin34)を SW3 に接続	接続解除	R70
R70	SW3_INTP10(MCU, Pin34)をヘッド JA5.Pin10 に接続	接続解除	R69
R71	INTP4(MCU, Pin28)をヘッド JA2.Pin23 に接続	接続解除	R72
R72	TRGIOA(MCU, Pin54)をヘッド JA2.Pin23 (R62 経由)に接続	接続解除	R71, R62

表 6-5: IRQ&汎用 I/O オプションリンク

6.6 電源設定

電源設定に関連するオプションリンクを表 6-6 に示します。

Reference	実装時の設定	未実装時の設定	関連
R16	Board_5V を PWR コネクタに接続	接続解除	-
R17	CON_5V を Board_5V、レギュレータ IC の入力に接続	接続解除	-
R22	Board_5V、またはレギュレータ IC 出力を J5 を経由して Board_VDD に接続	接続解除	J5, R23
R23	CON_3V3 を Board_VDD に接続	接続解除	R22
R24	Board_5V またはレギュレータ IC 出力を J5 を経由して Board_EVDD に接続	接続解除	J5, R25
R25	CON_3V3 を Board_EVDD に接続	接続解除	R24
R26	Board_VDD を UC_VDD に接続	接続解除	R22, R23
R27	Board_EVDD を UC_EVDD に接続	接続解除	R24, R25
R38	実装しないでください。	接続解除	R39
R39	Board_EVDD をユーザ LED に接続	接続解除	R38

表 6-6: 電源設定オプションリンク

電源設定に関連するジャンパ設定を表 6-7 に示します。

J5 設定	J6 設定	供給源	入力電圧	レギュレータ IC 出力供給
Pin1-2 短絡	開放 / 短絡	E1	5V / 3.3V	レギュレータ IC 出力供給なし
Pin1-2 短絡	開放 / 短絡	PWR コネクタ	5V	レギュレータ IC 出力供給なし
Pin2-3 短絡	開放		5V	3.3V
Pin2-3 短絡	短絡		5V	1.8V

表 6-7: 電源設定ジャンパ設定

6.7 クロック設定

クロック設定に関連するオプションリンクを表 6-8 に示します。

Reference	実装時の設定	未実装時の設定	関連
R1	X2 (MCU, Pin17) を水晶発振子 X1 に接続	接続解除	R3, R5
R2	X1 (MCU, Pin18) を水晶発振子 X1 に接続	接続解除	R4, R6
R3	X2 (MCU, Pin17) を水晶発振子 X2 に接続	接続解除	R1, R5
R4	X1 (MCU, Pin18) を水晶発振子 X2 に接続	接続解除	R2, R6
R5	X2 (MCU, Pin17) をヘッダ J1.Pin17 に接続	接続解除	R1, R3
R6	X1 (MCU, Pin18) をヘッダ J1.Pin18、JA2.Pin2 に接続	接続解除	R2, R4
R7	XT2 (MCU, Pin14) を水晶発振子 X3 に接続	接続解除	R7
R8	XT1 (MCU, Pin15) を水晶発振子 X3 に接続	接続解除	R8
R9	XT2 (MCU, Pin14) をヘッダ J1.Pin14 に接続	接続解除	R9
R10	XT1 (MCU, Pin15) をヘッダ J1.Pin15 に接続	接続解除	R10

表 6-8: クロック設定オプションリンク

6.8 LIN設定

LIN 設定に関連するオプションリンクを表 6-9、ジャンパ設定を表 6-10 に示します。

Reference	実装時の設定	未実装時の設定	関連
R93	LIN 動作モードをマスターモードに設定 (但し R94 も実装)	LIN 動作モードをスレーブモードに設定 (但し R94 も未実装)	R94
R94	LIN 動作モードをマスターモードに設定 (但し R93 も実装)	LIN 動作モードをスレーブモードに設定 (但し R93 も未実装)	R93
R95	Board_5V を VBAT に接続	接続解除	J12

表 6-9: LIN オプションリンク

Reference	実装時の設定	未実装時の設定	関連
J12 *1	外部電源を VBAT に接続。Pin1 側に外部電源の陽極、Pin2 側に陰極を接続してください。	外部電源と VBAT、GROUND の接続解除	R95

表 6-10: LIN ジャンパ設定

*1 製品出荷時 J12 は CPU ボードに実装されていません。J12 を実装して外部電源を使用する場合、抵抗 R95 を取り外してください。

7. ヘッダ

7.1 拡張基板インタフェース（アプリケーションヘッダ）

本 CPU ボードは他のシステムへの接続が可能な拡張基板インタフェース（アプリケーションヘッダ）を備えています。

アプリケーションヘッダ JA1 の接続を表 7-1 に示します。

アプリケーションヘッダ JA1					
ピン	ヘッダ名称	MCU ピン	ピン	ヘッダ名称	MCU ピン
1	5V	-	2	0V	-
3	3V3	-	4	0V	-
5	AVCC	NC	6	AVSS	89
7	AVREF	90	8	ADTRG	NC
9	ADC0	86	10	ADC1	85
11	ADC2	84	12	ADC3	83
13	DAC0	88	14	DAC1	87
15	IO_0	44	16	IO_1	45
17	IO_2	46	18	IO_3	47
19	IO_4	48	20	IO_5	49
21	IO_6	50	22	IO_7	51
23	IRQ3/IRQAEC/M2_H SIN0	36/NC/NC	24	IIC_EX	NC
25	IIC_SDA	25	26	IIC_SCL	24

表 7-1: アプリケーションヘッダ JA1

アプリケーションヘッダ JA2 の接続を表 7-2 に示します。

アプリケーションヘッダ JA2					
ピン	ヘッダ名称	MCU ピン	ピン	ヘッダ名称	MCU ピン
1	RESET	13	2	EXTAL	17
3	NMI	NC	4	Vss1	-
5	WDT_OVF	NC	6	SCIaTX	95
7	IRQ0/WKUP/M1_H SIN0	6/NC/NC	8	SCIaRX	94
9	IRQ1/M1_H SIN1	5/NC	10	SCIaCK	93
11	M1_UD	62	12	CTSRTS	NC
13	M1_UP	64	14	M1_UN	65
15	M1_VP	66	16	M1_VN	68
17	M1_WP	67	18	M1_WN	69
19	TimerOut	96	20	TimerOut	29
21	TimerIn	97	22	TimerIn	30
23	IRQ2/M1_EncZ/M1_H SIN2	28/54/NC	24	M1_POE	16
25	M1_TRCCLK	97	26	M1_TRDCLK	96

表 7-2: アプリケーションヘッダ JA2

アプリケーションヘッダ JA5 の接続を表 7-3 に示します。

アプリケーションヘッダ JA5					
ピン	ヘッダ名称	MCU ピン	ピン	ヘッダ名称	MCU ピン
1	ADC4	79	2	ADC5	78
3	ADC6	77	4	ADC7	76
5	CAN1TX	NC	6	CAN1RX	NC
7	CAN2TX	NC	8	CAN2RX	NC
9	IRQ4/M2_EncZ/M2HSIN1	35/NC/NC	10	IRQ5/M2_HSIN2	34/NC
11	M2_UD	NC	12	M2_Uin	NC
13	M2_Vin	NC	14	M2_Win	NC
15	M2_Toggle	NC	16	M2_POE	NC
17	M2_TRCCLK	NC	18	M2_TRDCLK	NC
19	M2_UP	NC	20	M2_UN	NC
21	M2_VP	NC	22	M2_VN	NC
23	M2_WP	NC	24	M2_WN	NC

表 7-3: アプリケーションヘッダ JA5

アプリケーションヘッダ JA6 の接続を表 7-4 に示します。

アプリケーションヘッダ JA6					
ピン	ヘッダ名称	MCU ピン	ピン	ヘッダ名称	MCU ピン
1	DREQ	NC	2	DACK	NC
3	TEND	NC	4	STBYn	NC
5	RS232TX	NC	6	RS232RX	NC
7	SClBRX	54	8	SClBTX	55
9	SClCTX	99	10	SClBCK	52
11	SClCCK	1	12	SClCRX	100
13	M1_Toggle	63	14	M1_Uin	NC
15	M1_Vin	NC	16	M1_Win	NC
17	Reserved	NC	18	Reserved	NC
19	Reserved	NC	20	Reserved	NC
21	Reserved	NC	22	Reserved	NC
23	Unregulated_VCC	NC	24	Vss	-

表 7-4: アプリケーションヘッダ JA6

7.2 マイクロコントローラピンヘッド

本 CPU ボードはマイクロコントローラとの接続を容易にするマイクロコントローラピンヘッドを備えています。

マイクロコントローラピンヘッド J1 の接続を表 7-5 に示します。

マイクロコントローラピンヘッド J1					
ピン	回路ネット名	MCU ピン	ピン	回路ネット名	MCU ピン
1	SCK30n	1	2	PIN2	2
3	PIN3	3	4	PIN4	4
5	INTP2	5	6	INTP1	6
7	PIN7	7	8	LED1	8
9	LED0	9	10	PIN10	10
11	PIN11	11	12	TOOL0	12
13	RESEn	13	14	CON_XT2	14
15	CON_XT1	15	16	INTP0	16
17	CON_X2	17	18	CON_X1	18
19	NC	-	20	GROUND	-
21	GROUND	-	22	UC_VDD	-
23	UC_EVDD	-	24	SCLA0	24
25	SDAA0	25	26	NC	-
27	NC	-	28	NC	-
29	NC	-	30	NC	-
31	NC	-	32	NC	-
33	NC	-	34	NC	-
35	NC	-	36	NC	-

表 7-5: マイクロコントローラピンヘッド J1

マイクロコントローラピンヘッド J2 の接続を表 7-6 に示します。

マイクロコントローラピンヘッド J2					
ピン	回路ネット名	MCU ピン	ピン	回路ネット名	MCU ピン
1	LED2	26	2	LED3	27
3	INTP4	28	4	TO10	29
5	TI11	30	6	PIN31	31
7	PIIN32	32	8	PIN33	33
9	SW3_INTP10	34	10	SW2_INTP9	35
11	SW1_INTP8	36	12	PIN37	37
13	PIN38	38	14	PIN39	39
15	PIN40	40	16	DLCDRS	41
17	DLCDE	42	18	GROUND	-
19	IO0	44	20	IO1	45
21	IO2	46	22	IO3	47
23	IO4	48	24	IO5	49
25	IO6	50	26	NC	-
27	NC	-	28	NC	-
29	NC	-	30	NC	-
31	NC	-	32	NC	-
33	NC	-	34	NC	-
35	NC	-	36	NC	-

表 7-6: マイクロコントローラピンヘッド J2

マイクロコントローラピンヘッダ J3 の接続を表 7-7 に示します。

マイクロコントローラピンヘッダ J3					
ピン	回路ネット名	MCU ピン	ピン	回路ネット名	MCU ピン
1	IO7	51	2	SCK00n	52
3	UC_EVDD	53	4	LINRXD_RxD0_TRGIOA	54
5	LINTXD_TxD0	55	6	LINNSLP	56
7	PIN57	57	8	DLCDD4	58
9	DLCDD5	59	10	DLCDD6	60
11	DLCDD7	61	12	TRDIOA0	62
13	TRDIOC0	63	14	TRDIOB0	64
15	TRDIOD0	65	16	TRDIOA1	66
17	TRDIOB1	67	18	TRDIOC1	68
19	TRDIOD1	69	20	PIN70	70
21	PIN71	71	22	PIN72	72
23	PIN73	73	24	PIN74	74
25	PIN75	75	26	NC	-
27	NC	-	28	NC	-
29	NC	-	30	NC	-
31	NC	-	32	NC	-
33	NC	-	34	NC	-
35	NC	-	36	NC	-

表 7-7: マイクロコントローラピンヘッダ J3

マイクロコントローラピンヘッダ J4 の接続を表 7-8 に示します。

マイクロコントローラピンヘッダ J4					
ピン	回路ネット名	MCU ピン	ピン	回路ネット名	MCU ピン
1	ANI14	76	2	ANI13	77
3	ANI12	78	4	ANI11	79
5	PIIN80	80	6	PIN81	81
7	ADPOT	82	8	ANI7	83
9	ANI6	84	10	ANI5	85
11	ANI4	86	12	ANO1	87
13	ANO0	88	14	AVREFM	89
15	AVREFP	90	16	PIN91	91
17	PIN92	92	18	SCK10n	93
19	RxD1	94	20	TxD1	95
21	TO00_TRGCLKB	96	22	TI00_TRGCLKA	97
23	PIN98	98	24	TxD3	99
25	RxD3	100	26	NC	-
27	NC	-	28	NC	-
29	NC	-	30	NC	-
31	NC	-	32	NC	-
33	NC	-	34	NC	-
35	NC	-	36	NC	-

表 7-8: マイクロコントローラピンヘッダ J4

8. コード開発

8.1 概要

コードのデバッグはルネサス開発ツール E1 エミュレータを経由して PC に CPU ボードを接続して行われます。E1 エミュレータは本製品に同梱されています。

E1 エミュレータのデバッグ機能に関する詳細情報は、E1/E20 エミュレータユーザーズマニュアルおよび該当マイクロコントローラ用別冊マニュアルを参照してください。

8.2 コンパイラ制限

本製品に同梱のコンパイラは、メモリ制限があります。使用可能なメモリ範囲が内部 ROM の 64k バイトと内部 RAM に制限されます。フルバージョンのライセンスが必要な方は、ルネサスエレクトロニクス販売またはルネサス特約店にご依頼ください。

8.3 モードサポート

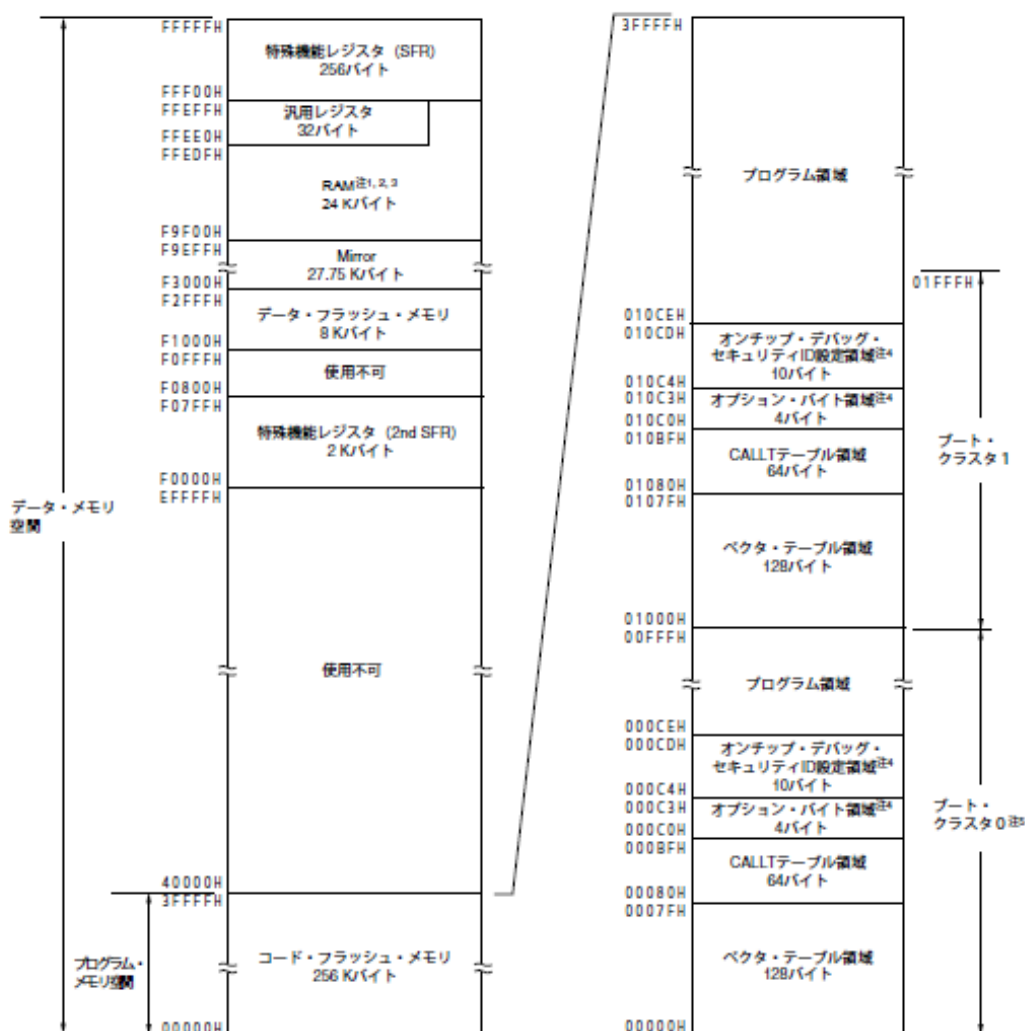
本 CPU ボードは、シングルチップモードをサポートします。

8.4 デバッグサポート

E1 エミュレータはソフトウェアブレイク、ハードウェアブレイクおよびトレース機能をサポートします。ソフトウェアブレイクの本数は最大 2000 本、ハードウェアブレイクの本数は最大 1 本です。その他の詳細情報は E1/E20 エミュレータユーザーズマニュアルおよび該当マイクロコントローラ用別冊マニュアルを参照してください。

8.5 アドレス空間

マイクロコントローラの動作モードによるアドレス空間を図 8-1 に示します。アドレス空間の詳細情報は RL78/G14 ユーザーズマニュアルハードウェア編を参照してください。



- ★ 注1. セルフ・プログラミング機能およびデータ・フラッシュ機能使用時は、ライブラリがワーク・エリアとして使用するF9F00H-FA309Hの領域が使用禁止になります。
 - ★ 2. オンチップ・デバッグのトレース機能使用時は、FA300H-FA6FFHの領域が使用禁止になります。
 - 3. 汎用レジスタを除いたRAM領域から命令実行をすることができます。
 - 4. ブート・スワップ未使用時：000C0H-000C3Hにオプション・バイト，000C4H-000CDHにオンチップ・デバッグ・セキュリティIDを設定
ブート・スワップ使用時：000C0H-000C3H，010C0H-010C3Hにオプション・バイト，000C4H-000CDH，010C4H-010CDHにオンチップ・デバッグ・セキュリティID設定
 - 5. セキュリティの設定により、ブート・クラスタ0は書き換えを禁止することができます (30.6 セキュリティ設定を参照)。
- ★ 注意 RAM領域から命令実行し、RAM/パリティ・エラー・リセット発生を許可する (RPERDIS = 0) 場合、「使用するRAM領域+10バイト」の領域を必ず初期化してください。

図 8-1: アドレス空間

9. 追加情報

サポート

CubeSuite+の使用方法等の詳細情報は、CubeSuite+のヘルプメニューを参照してください。

RL78/G14 マイクロコントローラに関する詳細情報は、RL78/G14 ユーザーズマニュアルハードウェア編を参照してください。

アセンブリ言語に関する詳細情報は、RL78 ファミリユーザーズマニュアルソフトウェア編を参照してください。

オンラインの技術サポート、情報等は以下のウェブサイトより入手可能です：

<http://japan.renesas.com/rskrl78g14> (日本サイト)
<http://www.renesas.com/rskrl78g14> (グローバルサイト)

オンライン技術サポート

技術関連の問合せは、以下を通じてお願いいたします。

日本：csc@renesas.com
グローバル：csc@renesas.com

ルネサスのマイクロコントローラに関する総合情報は、以下のウェブサイトより入手可能です：

<http://japan.renesas.com/> (日本サイト)
<http://www.renesas.com/> (グローバルサイト)

商標

本書で使用する商標名または製品名は、各々の企業、組織の商標または登録商標です。

著作権

本書の内容の一部または全てを予告無しに変更することがあります。
本書の著作権はルネサス エレクトロニクス株式会社にあります。ルネサス エレクトロニクス株式会社の書面での承諾無しに、本書の一部または全てを複製することを禁じます。

© 2012 Renesas Electronics Europe Limited. All rights reserved.
© 2012 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.
© 2012 Renesas Solutions Corp. All rights reserved.

改訂記録	RSKRL78G14 ユーザーズマニュアル(CubeSuite+)
------	-----------------------------------

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	2012.06.08	－	初版発行

RSKRL78G14 ユーザーズマニュアル(CubeSuite+)

発行年月日 2012年6月8日 Rev.1.00

発行 株式会社ルネサスソリューションズ
〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 4-1-6



ルネサスエレクトロニクス株式会社

■営業お問合せ窓口

<http://www.renesas.com>

※営業お問合せ窓口の住所・電話番号は変更になることがあります。最新情報につきましては、弊社ホームページをご覧ください。

ルネサス エレクトロニクス販売株式会社 〒100-0004 千代田区大手町2-6-2（日本ビル）

(03)5201-5307

■技術的なお問合せおよび資料のご請求は下記へどうぞ。
総合お問合せ窓口：<http://japan.renesas.com/contact/>

RL78/G14